

## 第12回企画委員会議事要旨

日時 2019年12月25日(水) 18:30~20:30

場所 日本財団2階第8会議室

出席者

(企画委員会委員、オブザーバー、部会委員)

駒村委員長、丸物委員、村木委員、久保寺委員、池田委員、石崎委員、奥田委員、  
酒光バランス部会委員

(上記以外の出席者)

日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

### (事務局から説明)

- 障害福祉関連施策、生活困窮関連施策、雇用・訓練施策をまたがる、「総合的働きづらさ対策事業」の創設をめざしたい。また、「障害者総合支援法(就労継続支援A型事業所、就労移行支援事業所、障害者就労・生活支援センターなど)、生活困窮者自立支援法(就労準備支援事業など)、雇用・訓練施策(若者サポートステーション、訓練事業など)をできるだけ使いこなすとともに、現行制度の問題点・隘路を提起するようなモデル事業の構築をめざしたい(概ね了解をいただく)。
- 海外状況整理部会の2019年度検討内容につき、来年(2020年)の4月か5月に、企画委員会で松井部会長からご報告頂き、そこでの議論を、海外部会の来年度の検討に活かしてもらおうと考えている。
- 2019年度中に、刑余者関係で第3回有識者ヒアリングの実施を考えている。
- 2019年度の事業成果を公表し、ダイバーシティ就労の考え方を広めることを目的とし、来年5月か6月に「Work! Diversity」フォーラムを開催したい。

### (意見交換)

- モデル事業の評価に当たっては、「モデル事業そのものの評価」(情報収集に主眼。支援対象者のレベルアップが十分でない例があったとしても、そういう事例を得られたこと自体が成果となる。)と「支援対象者のレベルアップに係る評価」を分けて考えるべし。